

# 真弓山

足助中学校だより  
令和8年10月8日(木)  
第7号



## ◆異文化理解学習◆

現在、愛知県で開催されているアジアパラ競技大会の開催を契機に、アジア圏に出身の外国人講師の方から多様な文化や価値観に触れたり、国際理解や多文化共生への関心を深めたりすることを目的として、9月24日(木)に異文化理解学習が実施されました。本校にはインドネシア出身の講師が来校され、クイズでインドネシアという国についての紹介や、日本に来て母国との違いで感じたことなどをお話してくださいました。まだ来日して3年程度とのことでしたが、とても美しく流暢な日本語を話されていました。生徒に夢をあきらめず追いつけることの大切さを伝えてくださいました。また、海外から日本に来て困った経験談から、日本に住む私たちが、「国が違えば生活習慣や考え方が違うのは当たり前」の意識をもって、日本の常識を押し付けるのではなく、一緒に気持ちよく過ごせる方法を分かるように教えてくれるとうれしいとお話がありました。最後にインドネシア語で御礼「**Terima Kasih** (テリマカシ=ありがとう)」と挨拶「**Sampai Jumpo** (サンパイ・ジュンパ=さようなら)」をしてお別れしました。



## ◆避難訓練・体験活動◆



こんなところに消火栓があるんだ!



ゆっくり降下するので怖くなかったよ



ホースからでる水の勢いがすごい

9月1日(火)の防災の日に、大地震発生からの火災発生を想定した避難訓練を実施しました。世界で大きな地震が多発しており、災害への備えは必須です。消防署の方にもきていただき、逃げ遅れた生徒がいる設定で訓練が行われました。また、避難訓練の後には、1年生は水消火器体験、2年生は煙道体験、3年生は3階校舎からの救助袋避難体験、と学年ごとに体験活動を行いました。さらに、昨年度に引き続き、地域の消防団の皆さんのご協力のもと、1年生は消火栓見学・体験、2年生はプールで小型ポンプでの放水体験、3年生はホース延長・屋内消火栓の取り扱いについて学びました。なかなかできない経験です。平日にも関わらず、多くの消防団の皆さんが駆けつけてくださり、子どもたちに地域を守る防災活動について教えてくださいました。防災意識を高めるとともに地域を守る消防団の活動を知る貴重な機会になりました。

## ◆足中祭に向けて◆

足中祭まであと2週間あまり。合唱コンクールに向けて、各教室では休み時間や自活の時間を使った練習が始まっています。先週は、審査員の先生から直接合唱指導もしていただきました。

そして、本日10月8日(木)からは足中祭準備期間となり、本格的に縦割りのスタッフごとの活動が始まります。本番だけでなく、こうした準備期間は、学級以外の仲間との新たな関わりや絆を深めるチャンスです。そして、今年も、夏の間から公務手さんと校内整備員さんが運動場の草を刈って、運動場の準備を進めてくださっています。子どもたちの活動のために、多くの方々にお支えていただいていることに感謝しております。